

静岡県静清工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

静清工業用水道は、昭和14年清水市（現在静岡市）三保に新設された日本軽金属㈱をはじめ、静岡地区の工場に給水するため、水源を安倍川の上流12kmの静岡市葵区門屋に求め昭和16年から一部給水を開始している。安倍川の伏流水を使用しているため水温が低く、水質的にも良好で、現在、静岡地域の重化学・食品工場等77社に給水しており、当地域の産業活動の大きな基盤となっている。

○事業の経緯

当工業用水道は、国営工業用水道として昭和14年度に工事に着手し、昭和19年度に完成している。

即ち、静岡市葵区門屋地先から、一級河川安倍川の伏流水を取水し、21kmに及ぶ管路により48,000m³/日の工業用水を、清水・静岡東部地域の関係工場30数社に給水したのが始まりである。

しかし、戦後の産業経済の急速な発達に伴う工場設備の拡大による工業用水の大幅な需要増を満たす必要が生じ、昭和27年度に第1期拡張工事に着手し、昭和33年度に完成し、県営の工業用水道事業として静岡県が引き取り事業を開始した。

この拡張工事の内容は、既設水源の上流に新たな取水施設（第2取水口）を設けて、延長31kmに及ぶ送配水管を布設し、旧施設と併せて、給水能力が96,000m³/日となった。

その後、配水池の増設、配水管の延長等、第2期拡張工事に着手し、昭和41年度に完成し現在の形態となった。

また、安定した給水を確保するため、安倍川流水の変化に伴って取水能力の低下した水源施設の改築及び老朽化した配水管路の布設替工事等を実施（S58年～H22年）。

○ユーザーの概要

（平成20年3月末現在）

業種	給水件数	契約水量（m ³ /日）
食料品関連	16	16,130
紙・パルプ	3	367
化学	12	12,290
石油製品		
金属製品	10	16,107
電気・機械	5	7,593
その他	31	7,602
計	77	60,089

○工業用水道施設の概要

静清工業用水道事業は、一級河川安倍川の河口より約12km上流の静岡市葵区門屋地先の2箇所取水口より内径1200mm及び900mmの多孔ヒューム管にて伏流水を取水している。その後、集水井に集められた水は導水管により取水位置より約2km離れた鯨ヶ池沈砂池まで導水され、沈砂後、原水を送水管（φ900mm、L=9.2km）にて上原配水池（容量26,000m³）まで送水している。その後配水管（総延長約47km）で各ユーザーまで給水を行っている。

○事業の特徴

静清工業用水道事業は、一般国道1号（現道）の静岡市清水区辻町（清水駅前交差点）～静岡市葵区南安倍（南安倍交差点）において国が事業主体である静清共同溝事業に参画している。工業用水の参画区間はのうち約4.0kmで平成17年度には一部通水を開始しており、平成22年度の完成が予定されている。

○静岡県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.shizuoka.jp/kigyou/>

（給水区域図：前ページ下に掲載）

○静清工業用水道概要図

